

株式会社脱炭素化支援機構

～カーボンニュートラルへの挑戦を通じて、
豊かで持続可能な未来を創る～

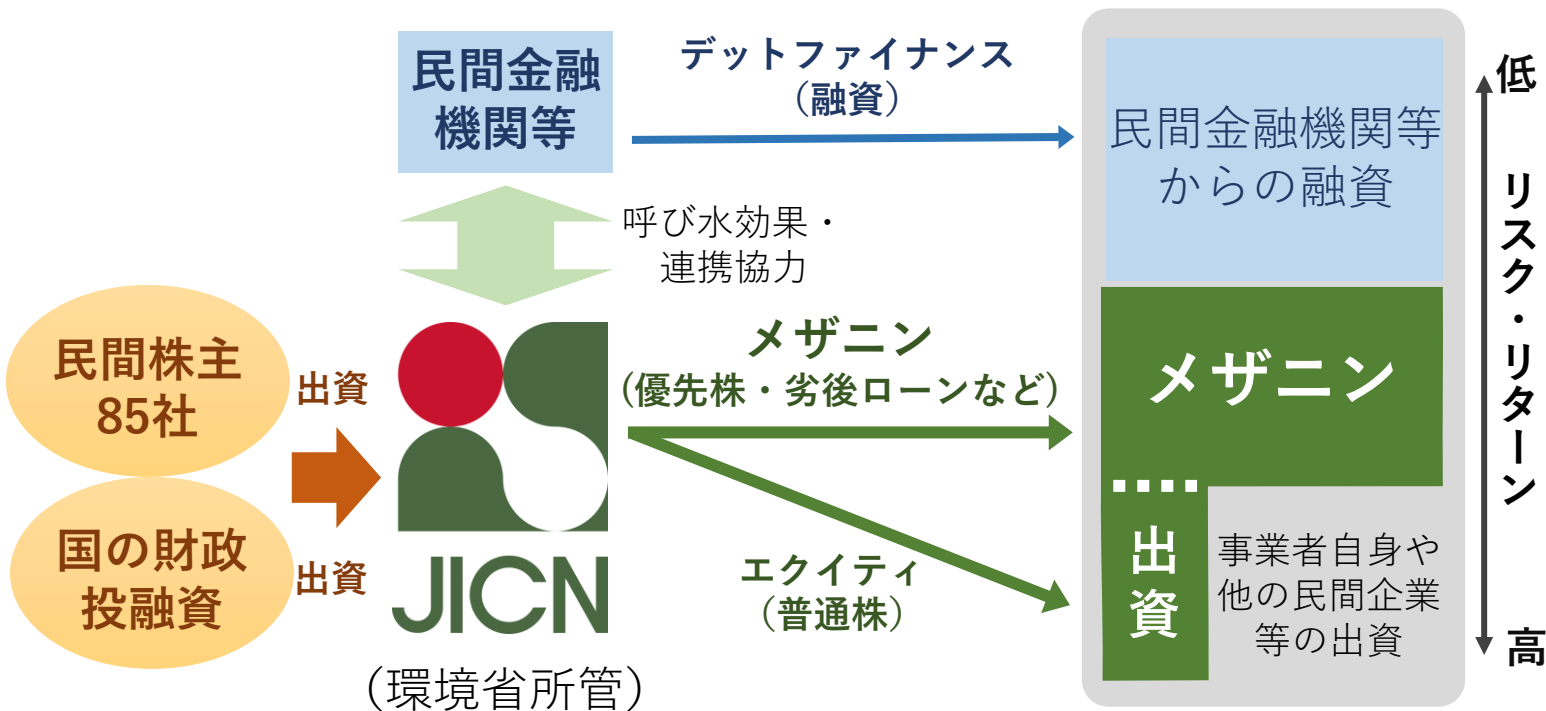


● カーボンニュートラル関連ビジネスや事業にファイナンスを提供

※補助金や利子補給ではありません。

● **資金規模**：289億円（国が継続的に資本増強予定）

● **活動期間**：2022年10月設立。2050年まで活動予定



投融資領域例

カーボンニュートラル
関連のビジネスや事業
を幅広くサポート

- 再エネ（太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力等）
- 燃料（水素アンモニア、SAF、ブラックペレット等）
- 省エネ蓄エネ等（蓄電池、エネマネ、ZEB/ZEH等）
- 脱炭素化に必要な設備機器デバイスや素材部材の製造
- モビリティ・運輸（EV、MaaS、物流インフラ等）
- 農業・林業・水産業
- リサイクル・資源循環

【JICNの特色】

- 民間資金の呼び水となるリスクマネーの供給
- JICNの民間株主85社との連携（金融機関58社・事業会社27社）
例：ビジネス交流会（JICN株主と支援対象企業の交流会）
- 環境省や関係省庁と連携し、事業の成果を広く発信
- 財務・技術的なサポート※

※費用負担等を御相談する場合や、内容によりサポートできない場合もございます。

温暖化ガスの削減・吸収と社会経済の発展に貢献する、 多種多様なビジネスやプロジェクトに対して資金を供給します

- ※間接的な排出削減やトランジションに関するものを含まず。
- ※社会経済の発展には、技術革新や産業振興、地方創生などを含まず。
- ※海外で行われる事業でも、日本の社会経済への裨益があれば対象になります。

【JICNの投融資領域】

分類	例
 エネルギー 転換部門	燃料 A 水素、アンモニア、メタン、SAF、e-fuel、ブラックペレット
	発電（再エネ） B 太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力、廃棄物
	発電（再エネ以外） C トランジション（火力発電のバイオマス・アンモニア等の混焼、燃料電池等）、エネルギーハーベスト
	蓄エネ・熱利用 D 蓄電池、CAES、地中熱、熱供給、未利用熱利用
	送配電 E スマートグリッド、慣性力確保、HVDC
 ものづくり・ 産業	素材・原材料 F 新素材、バイオ素材、省エネ建材
	産業プロセス G 製鉄、化学、セメント、製紙、ガラス
	機器デバイス製造 H 再エネ・省エネ・蓄エネ機器製造、ノンフロン機器、パワーデバイス、IoTデバイス
	建物・施設 I ZEB/ZEH、業務施設（オフィス・物流施設等）の省エネ
	農林水産業 J スーパー植物、垂直農法、オルタナティブフード、森林整備、養殖
 サービス・ 運用・ データ	運輸・モビリティ K EV(陸・海・空)、鉄道、MaaS、空港・港湾整備、物流効率化、コールドチェーン構築
	エネルギーマネジメント L 省エネ・蓄エネ、ERAB、DR、VPP、DER、HEMS・BEMS・FEMS・CEMS
	データ・DX M AI、デジタルツイン、行動変容勧奨、GHG排出量算定・可視化
	金融・保険 N 脱炭素関連フィンテックサービス
	排出クレジット O クレジット取引、認証・検証
 資源循環・レジリ エンス向上	リユース/リサイクル/アップサイクル P PV・バッテリー等のリサイクル、ボトルtoボトル、サステナブルファッション、食品ロス対策
	レジリエンス向上 Q 水ストレス対応、Eco-DRR、オフグリッド、マイクログリッド
 吸収量増大・ 炭素回収利用貯留	吸収源対策 R 森林、海洋（ブルーカーボン）、農地（土壌改良）
	炭素回収/利用/貯留 S CCS、BECCS、CCU、DAC
その他 T	
間接投資 ファンド U	

- ※あくまでも例示であり、限定列挙しているものではありません。
- ※複数の領域に当てはまるものもあり得ます。
- ※分類自体は、今後の活動に合わせて見直していく可能性があります。

株式会社脱炭素化支援機構

～カーボンニュートラルへの挑戦を通じて、
豊かで持続可能な未来を創る～



【JICNの投融資案件一覧】

再エネ

株式会社コベック

食品廃棄物等の
バイオガス化

ふるさと熱電株式会社

地熱発電事業



オフサイトPPA方式の
太陽光発電事業等



太陽光発電所の
遠隔管理・保守再生

蓄電池



大型蓄電池、EV急速受電、電気運搬船



Exergy Power Systems

次世代パワー型蓄電池

ものづくり（デバイス機器、素材）



低環境負荷プリント基板



小規模分散型水循環システム



未利用バイオマスの再生、開発、
OEM/ODM



超音波を利用した
金属接合装置



インフラのさび等を
レーザー除去

建設・不動産



リノベーション&省エネ改修

農業



アメリカでのイチゴの工場生産



水田水位調節デバイス



環境負荷の小さい農業

DX・GHG可視化



温室効果ガス排出量算定・可視化

ファンド



Universal Materials Incubator Co., Ltd.

素材・化学系に特化した投資を行う
ベンチャーキャピタル



詳細はこちらから

※2024年4月までに公表したもの

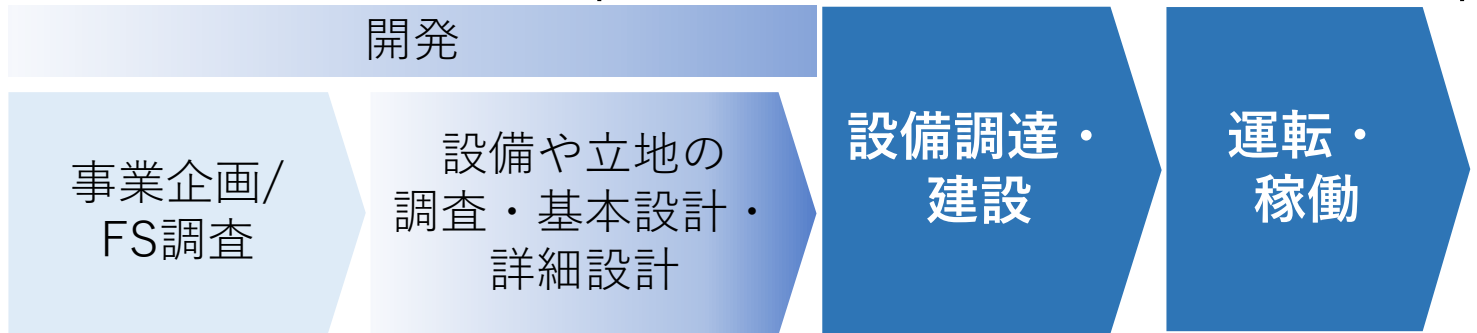
株式会社脱炭素化支援機構

～カーボンニュートラルへの挑戦を通じて、
豊かで持続可能な未来を創る～



主として、設備の調達・建設・稼働の段階、プロダクトを社会実装していく段階の資金を供給します。

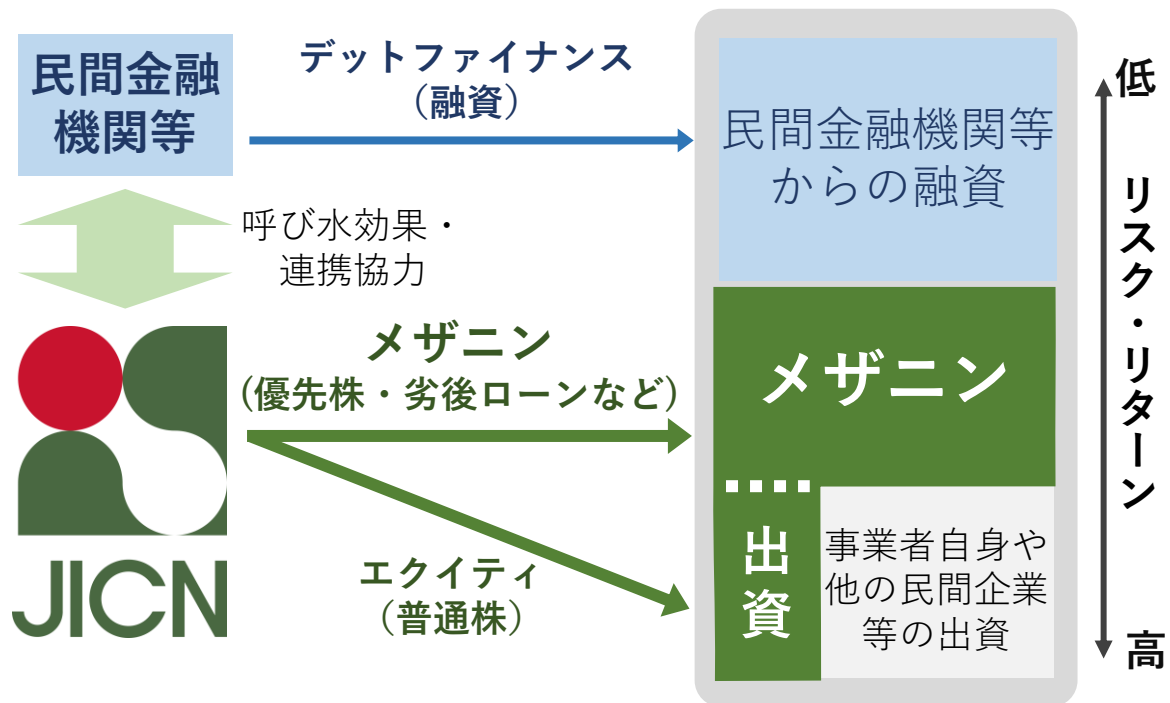
主たる投融資対象



※プロジェクトファイナンスを想定した図となっておりますが、コーポレートファイナンスも同様に、プロダクトを社会実装していく段階以降を支援対象と想定しています。

※既存設備・施設の脱炭素化型へのリノベーション・転換も対象になり得ます。

資金ニーズやリスク等に応じて、民間との協調で、優先株・劣後ローン等のメザニンファイナンスや出資を実施します。



※出資の場合、**有限責任での出資**で、かつ、**出資額は総出資額の1/2以下**になります。

※原則、出資期間は契約締結年度を含めて、**最長20事業年度程度**を想定しています。

※脱炭素化関連の**他のファンドに対する出資**も行うことができます。

※リファイナンス(事業継続を前提に行う借入の組み換え等)も対象になり得ます。

※**国や自治体の補助金との併用も可能**です。